

# 進路通信

5月27日

## 学部・学問情報

### ◆ 芸術理論… 芸術の理論と技術を社会に生かす

#### 【学問の内容】

芸術という学問分野には、美術・デザインと音楽の両方にまたがる領域や、どちらにも分けることのできない領域が含まれています。この分野では、主に**芸術学、工芸、放送、演劇、文芸、写真、建築**などの内容を研究していきます。「**芸術学**」は、**美学・美術史**など芸術の理論や美のとらえ方を研究します。「**放送**」では、映像や音声を媒体としたさまざまな**番組**を実際に制作することによって、放送における表現の技法を学びます。「**演劇**」では、演劇における**演技**や**演出**について、また**照明**や**音声**などの技術も学びます。「**文芸**」は、**映画**や**テレビドラマ**などの**脚本、小説、新聞記事、広告のコピー**など文章による表現全般を対象としています。「**写真**」では、**写真**による表現の方法と理論を学びます。「**建築**」では特にデザイン面を重視した建築、街作りを含む**環境デザイン**などを学びます。

現代では、コンピュータグラフィックスを駆使した幻想的な**3D映像**など、新たな科学技術により芸術の方法論も日々変化しています。

#### 【卒業後の進路】

芸術に関する専門知識を生かして、**アートコーディネーター、芸術系の出版物の編集者、商品の開発企画立案者**などとして企業に就職する人が多い。

また、文化行政や団体などの**芸術関係の事業担当者**として活躍する人もいる。小学・中学・高校の**教員**や**美術館の学芸員**になる人もいる。

### ◆ その他芸術… 美術・音楽以外の芸術的表現を究める

#### 【学問の内容】

**美術や音楽の枠に入らないさまざまな芸術表現を、技法、理論の両面から学ぶ**。専門分野には、**写真、映像、演劇、文芸、書道、放送**など、それぞれの表現媒体を使って制作を行う分野が含まれる。

最近の傾向としては、注目度の高い**デジタルメディア**の扱い方を学ぶ人が増えている。特に映像芸術の**メディアアート**など、分野の特性を生かした使い方でコンピュータが使用されるため、**CGアート**などを専門に行う大学もある。

#### 【卒業後の進路】

卒業生の多くは制作現場で**カメラマン、ディレクター、音響ミキサー**などの職業に就くが、フリーの立場で**脚本家**や**演出家**などの制作スタッフの仕事をする人もいる。また、資格を取って**博物館**や**美術館の学芸員**になったり、**高校の書道教員**になる人もいる。

DTPやWeb制作について学び、**編集・制作プロダクション**で働く人も多い。

#### 【大学選びのアドバイス】

芸術分野の学問では、表現方法の違いによって学科やコースが細分化され、大学によって設置しているコースが異なる。したがって、まずは自分の学びたい分野をよく考えることが必要。そのうえで、その分野が学べる大学はどこかをしっかりしらべよう。写真や放送など特殊な機器操作の技術を伴う専攻を目指す場合は、十分な設備が整っているかどうかも重要なポイントになってくるので注意しよう。